

病院実習の実施内容

実習項目	実習内容	期間	評価
全ての実習項目で 共通事項	○医療人としての心構えを理解する ○医療機関におけるチーム医療の役割を体験し、理解する ○薬物療法におけるリーダーシップを発揮できる ○医療安全管理（リスクマネジメント）を理解する	全期間 を通じ	ループリック
病院実習導入	○病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ○入院から退院に至るまで入院患者との医療の関わりを理解する ○医薬品の供給管理を理解する	0.5 週間	ループリック
処方せんに 基づく調剤	○内服／外用薬調剤 ○注射薬調剤 がん化学療法（プロトコール、レジメン処方監査も含む、無菌調製を含む）、TPNを体験する	2 - 3 週間	ループリック
医薬品管理	○適切な医薬品の供給と管理を実践する	0.5 週間	ループリック
臨床薬剤業務の実践＊	○疾患と薬物療法 ○患者情報の把握 ○医療情報及び医薬品関連情報の活用（情報の収集、吟味、加工） ○処方設計・処方解析と薬物療法の実践 ○薬物療法総合演習	7.5-8.5 週間	薬物療法の実践 ⇒ループリック チーム医療 ⇒実習日報

＊代表的な8疾患のうち、最低 3疾患は病棟業務の実践で体験実習として学べる環境を整える。 ＊ 医薬品情報（DI）、TDM、処方解析・処方設計実習・演習は、この項目に含む